



14  
A 692

第廿号

二張

十月廿日

大正十一年四月



十月廿一日刊行「エロジニヤツボン」新聞抄訳  
 朝鮮ノ証否未タ判然ナラサルヨリ常ニ其議論  
 利害ヲ異ニス今日証韓ノ説行ハルモ明日ニ  
 至レハ其説変シテ非戦論トナリ又其翌日ニ至  
 レハ証韓論ニ復スルノ類ナリ  
 到底其帰スル処ノ方向ヲ知ル能ハサルハ實ニ  
 最小事ニアラス取ルニ足ラサル無根ノ説モ次  
 第ニ之レヲ傳聞シ或ハ之レヲ評論スルニ因テ  
 終ニ実説トナルノ間々アリ  
 故ニ西郷大將ハ自書ト題スル中ニ談氏征韓

4217



論ヲ主張スルニ因テ東京ノ正韓党ハ戦歌ヲ謳  
ヒツ、武器ヲ研磨シテ待ツニ至リレト云フモ  
矢張虚聞ノ誤ヨリ生セレトナリ  
然レ氏斯ル<sup>也</sup>暴ノ後ハ必ス拒絶セラレ可キ理  
ナレハ政府既ニ非戦論ニ半決セリト云テ忽ケ  
其銳氣ヲ鎮制セシ者アリ予輩不日其決局ヲ聞  
クニ至ル可シ

○  
甚タ久シキ以前既ニ久シキ間外債ヲ消却スル  
トヲ論シテ幾千トナク其策論純出レ当時其論

ノ可否ヲ辨セサレニ至レリ  
然レ此回ハ政府其事ヲ實地ニ行フト見エタリ  
而レテ其見込ト云ヘル者ハ大畧左ノ如シ  
最初先間税ヲ全ク外債ニ引当テ其後割合ニハ  
著大ナル金額ヲ外国ニ輸出ヲ業トスル大ナル  
製造人ニ貸附ケ而レテ其事ニ熟レタル官負ニ  
輸出ニナル可キ国産ヲ賣捌ク可キ役ヲ命シテ  
之レヲ欧米各国ニ派出セシム可レト  
或人説ニハ人皆知レル如ク此設計若レ聞知ス  
ル如ク政府果シテ全国ノ萬物ニ手ヲ廣ケテ買

易ノ利ヲ専ラニスル時ハ實ニ一般ノ商業ヲ營  
ハ者ノ利益ヲ害スルヲ甚ク多カル可レト  
此風説ハ外國ニ輸出ス可キ物品ヲ買收レテ之  
レヲ輸出スル人ニハ頗フル關係アルヲアル可  
キニ因リ茲ニ掲載シテ其人ニ報告ス